

しいの実

第27号

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標 「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

■ 千学習のまとめ

今年度、「お茶」について4～6年生が縦割り班で、地域の方にもお世話になって進めてきた学習がまとめの時期になりました。

これまでも、それぞれの学習班が、「自分たちの考えるおいしいお茶の淹れ方」で淹れたお茶を他の人に振る舞うことをしました。今回は、お茶を使ったスイーツづくりに挑戦しました。それぞれトッピングを工夫し、おいしそうなスイーツができていました。

「飲む」だけでなく「食べる」お茶の楽しみ方についても勉強できたようです。



■ 4年生社会科かるた



4年生が社会科で三重県について調べたことをカルタとして作る過程を通して、再確認しつつまとめていました。

読み札のことばを自分たちで考えていました。教室に入ると「先生、三重県で『ま』で始まるのありませんか。」と聞かれたので一緒になって考えました。

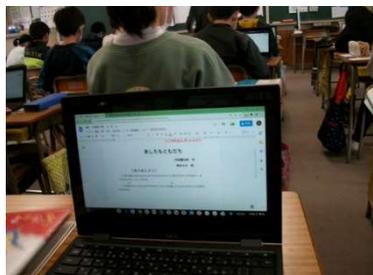
取り札の絵はインターネットで画像を探し、取り札にしていました。その後、プリントアウトして、貼り合わせたりハサミで切ったりしてカルタにしました。

デジタルとアナログな作業の融合と使い分けを上手にしながら学習が進んでいるのを見て、感心しました。



■ 読書活動

○5年生のおすすめの本



国語の学習内容で「おすすめの本を紹介する」というのがあり、子どもたちは友達に薦めたい本の紹介文を考えました。クロムブックを使いデジタルのプレゼンとして紹介文を作成している子もいれば、紙に手書きで紹介文を書いている子もいました。

自分の使いたい方法を選択して、伝えたいことを伝えることができていま

した。本を紹介することで、人から紹介された本にも興味をもち、読書の幅が広がってくれることを期待したいです。



○さすが6年生

鈴西小では毎年、「おすすめの本」として低学年20冊、高学年15冊を子どもたちに推薦しています。そして、それらの本を全て読み終えた子どもたちを児童集会の機会に「完読賞」として表彰しています。また、そのおすすめの本から1冊を選び学級全員が読むように「完読パズル」にも取り組んでいます。2月21日、今年度最初にパズルを完成させたのは6年生でした。さすが最高学年、1月時点では、まだ、トップではなかったのですが、2月になりラストスパートで一気に完読パズルの完成となりました。



■ いかのおすし

「いかのおすし」は何のことだか分かりますか。これは誘拐などから子ども自身が身を守るための行動をまとめた標語です。教育支援課と鈴鹿警察署の方に1・3年生を対象に連れ去り防止訓練を実施した時に教えていただきました。「知らない人についていかない」「他人の車にのらない」「おお声を出す」「すぐ逃げる」「何かあったらしらせる」の一部をつなげたものです。当日は、防犯ホイッスルを吹く練習や声掛けから逃げて事情を話す練習を実施しました。

